

2010 年度一橋大学体育会バレーボール部  
豪州海外遠征報告書



文責：社会学部 4 年 主将 河崎健一  
社会学部 2 年 佐野宗孝

## ～目次～

### I、遠征詳細

- 1、日程
- 2、参加者
- 3、交流先
- 4、練習・試合場所
- 5、宿泊場所
- 6、日程詳細
- 7、在パース総領事館訪問報告
- 8、三井物産パース支店訪問報告
- 9、西豪州政府関係者によるレクチャー報告
- 10、フリーマントル観光報告
- 11、ワイルドライフパーク観光報告
- 12、現地でお世話になった方々

### II、今後の展望

### III、参加者感想文

### IV、参考資料

- 1、費用概算&収支決算
- 2、如水会加入者一覧
- 3、遠征計画書
- 4、運動部国際交流助成基準
- 5、現地との連絡メール

## ～はじめに～

私たち一橋大学体育会バレーボール部は、如水会、および OB の皆さまのお力をお借りして、2010年8月4日から8月9日までオーストラリアのパースにある University of Western Australia (以下 UWA) と交流試合をして参りました。バレーボール部にとって今回の海外遠征は初めての試みであり分からないことだらけでしたが、如水会や OB 会の皆さまのお力添えによって無事成功することができました。まずここで御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

それでは今回の海外遠征の内容について報告申し上げたいと思います。

# I、遠征詳細

## 1、 日程

2010年8月4日 20:55 成田国際空港からパースに向けて出発(QF80便)

8月9日 09:20 パース国際空港から成田空港に到着(QF79便)

## 2、 参加者

体育会バレーボール部 部長 本学大学院経済学研究科教授 石川 城太

OB会 会長 古野間 計久

現役部員	四年 4名
	三年 7名
	二年 4名
	一年 9名
	計 24名

## 3、 交流先

オーストラリア パース University of Western Australia バレーボールクラブ



4、 練習場所  
UWA 内体育館

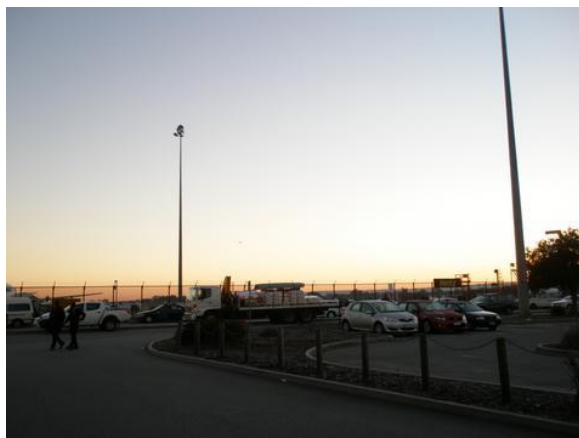
5、 宿泊場所  
UWA 内学生宿舎 Trinity



## 6、 日程詳細

～1日目 8月4日(水)～

20:50 成田空港からパースに向けて出発。(QF80便)



～2日目 8月5日(木)～

6:05 パース国際空港に到着。

午前中に古野間様、石川先生、4年生が UWA の副学長に挨拶に行った。その他の部員は自由時間とし、各自休養や、宿舎付近を散策した。

午後は UWA バレー部主将の案内で大学内を見学した後、パース市街地に移動し西豪州総領事館へ表敬訪問をした。その後三井物産パース支店に伺い歓迎レセプションをしていただき、支店長の高師様や UWA とのパイプ役をしてくださったアマンド様、INPEX の方々などたくさんの方から貴重なお話を聞くことができた。終了後市街地で夕食をとり、宿舎に帰り、就寝。





～3日目 8月6日(金)～

午前中は如水会関係者の方から紹介して頂いた西豪州政府の方々によるパースの産業や歴史、教育に関する講義を、日本人とオーストラリア人各1人ずつから受けた。

午後はUWAのバレーボール部との親善試合を行い、3-2で勝利した。試合後、UWAバレー部主将や高師様、INPEXの方々と一緒にバーベキューをした。



～4日目 8月7日(土)～

午前中はUWAバレー部主将の案内で、パース郊外の港町であるフリーマントルに行き、旧刑務所や海事博物館を見学した。

午後はUWAを拠点にしている社会人クラブチームとの親善試合を行い、2-3で敗れた。この試合では4年生を抜いたチームで1セット戦い、ほとんど全ての部員が試合に出場した。その後UWA関係者主催による歓迎レセプションが行われ、両大学の記念品が交換され、各部員が英語で自己紹介を行うなど英語を使って積極的に懇談した。



～5日目 8月8日(日)～

日中は UWA バレー部主将の案内でパース郊外にある野生動物公園(Caversham Wildlife Park)に行き、カンガルーやコアラなど様々な野生動物を見学した。その後パース最大の公園であるキングスパークに行き、散策し、空港に移動。22:55 成田空港に向けて出発。



～6日目 8月9日(月)～

9:20 成田空港到着。(QF79 便)その後解散。



## 7、西豪州総領事館訪問の報告

イ、日時：2010年8月5日

ロ、場所：在パース日本国総領事館

ハ、

### ①内容

佐藤総領事から今回の海外遠征について歓迎の言葉をいただくとともに、直々に西オーストラリア州の経済構造や、日本と西オーストラリア州の国家的な関わりについてお話しいただく。古野間OB会長、石川部長も参加された。15分程度と短い間ではあったが、西オーストラリア州がオーストラリアで最も大きな州であり、またオーストラリア経済を牽引していることや、西オーストラリア州にとって、日本は鉄鉱石といった工業製品の輸出で州の総輸出額の約20%を占める非常に重要な貿易相手であることを学ぶ。

### ②結果

出発前までは実感することの少なかった西オーストラリア州と日本国との経済的なつながりを学ぶことができた。また、総領事館が海外における日本国の重要な拠点となっていることを改めて実感することができた。

### ③感想

佐藤総領事から歓迎の言葉をいただくとともに、貴重なお話をしていただけたことで部員一同今回の遠征が単なる観光目的ではないことを改めて実感し、身を引き締めることができたと思う。また遠征先の西オーストラリア州を日本とのつながりをベースにお話ししていただけたことで、より我々の身近に感じることができた。

初日に総領事館でお話を伺えたことは海外遠征の意義を再認識するという意味で非常に有意義なものであったと思う。



## 8、三井物産パース支店訪問の報告

イ、日時：2010年8月5日

ロ、場所：豪州三井物産株式会社 パース支店

ハ、

### ①内容

三井物産パース支店長の高師さんと秘書のアマンダさん、日本領事館の佐藤さん、INPEX 人事部の井上さんと有森さん、UWA 関係者のジェームズさん、ネイスンさん達、三菱商事 パース支店長の山中さんが歓迎してくださった。古野間 OB 会長、石川部長も参加された。三井物産株式会社の新入社員研修用ビデオを拝見し、三井物産の歴史を学ぶ。三井物産株式会社パース支店長の高師さんと秘書のアマンダさんに豪州三井物産株式会社の主な事業を説明していただく。スライドのコピーも配布された。

INPEX の事業について、人事部の有森さんから「第一部 INPEX とエネルギー開発ビジネス」「第二部 豪州のアクティビティ」という構成で説明していただく。

高師さんや古野間会長、石川部長の挨拶の後、歓迎カクテルレセプションとなった。

窓の外に広がる Swan River を眺めながら、立食パーティー型で参加者の皆様とお話をさせていただき、交流を深めた。

### ②結果

三井物産パース支店に訪問する前に日本領事館で西オーストラリア州と日本の国家的なつながりのお話を伺い、こちらではビジネスを通じた西オーストラリア州とのつながりを知ることができた。

### ③感想

普通の観光では絶対に足を踏み入れることを出来ないオフィスに入らせて頂き、そして終始歓迎ムードでありとても嬉しかった。

三井物産や INPEX など、日本の大企業で名前を知っているが日常の生活に直接関わってくるわけではなく、どのような事業を具体的に行っているか知らなかったが、西オーストラリア州との関係を交えながら事業内容を知ることが出来た。

今回の海外遠征の中で一人一人が英語で会話する最初の機会であったが、レセプションの雰囲気も和やかで、皆積極的に話しかけに行くことができた。

このイベントは「話しかける勇気」を持つきっかけとなり、これも海外遠征の中での大きな収穫であったと思う。

## 9、西豪州政府によるレクチャーの報告

イ、日時

8月6日午前

ロ、場所

UWAの教室

ハ、内容

日本は西オーストラリアの総輸出額の20%も占める大切な貿易相手である。日本向け主要輸出品目は、金、鉄鉱石、原油、LNG等の鉱業産品並びに小麦等の穀物、ウッドチップ、伊勢エビなどの農水産品である。日本が輸入する鉄鉱石の約6割、LNGの約2割、小麦の約1割が西豪州から輸出されている。一方、日本からは乗用車及びその関連機械、医薬品等を輸入しており、西豪州にとって日本は、輸入総額の約8%を占める、世界第5位の輸入元国である。また、古くから日本企業は西オーストラリアの開発に投資しており、石油の発掘など、日本企業の経済的支援なくしては行えなかったこともたくさんあった。日本企業の投資は現在も大きな影響力をもつ。このように日本は西オーストラリアの発展に昔も今も欠かせない存在であり、それをオーストラリアの人々もよく知っているため、日本に対して非常に友好的だという。

また、現在資源開発の発展で景気が非常によくなってきている西オーストラリアでは、アルバイトの時給が最低でも1300円ほどある。西オーストラリアに留学に来た学生はたくさんアルバイトしてお金をためて帰っていく人が多いという。

さらに、オーストラリアでは、女性が出産、育児のために2年ほど休暇を取ったのち、仕事に復帰するのが当たり前である。実際、西オーストラリア州政府のトップで働いている女性は多く、子供のいる人もたくさんいる。また、旦那さんが家事をするのもごく当たり前のことで、日本よりもずっと女性が働く環境が整っている。

<感想>

日本とオーストラリアとの貿易が盛んなことは以前から知っていたが、西オーストラリアから日本がこんなにも貿易相手、投資元として重要視されていたのは知らなかった。また、オーストラリア人が日本に対し好意を抱いてくれているのを聞きとても嬉しかった。現在、中国が新たな貿易相手としてオーストラリアにとって大きな存在となってきているが、西オーストラリアと日本の友好関係を私たちの世代でも続けていきたいと強く思う。質疑応答では、アルバイトの話がでて、時給の高さにみんな驚いていた。また、女性の働く環境が日本よりもずっと整っているのを知り、日本国内で女性の働く環境に苦労しながら働いていくのではなく、海外で働くという選択支もあるのだな、と気付いた。この講義で新たな発見をたくさんすることができ、とても有意義な時間を過ごすことができた。

## 10、フリーマントル観光の報告

### イ、日時

8月7日（土）午前

### ロ、場所

フリーマントル

### ハ、内容

フリーマントルとは、パースより少し南にある港町です。宿泊している寮から路線バスを使い20分ほどで到着し、中心街の観光や旧刑務所や博物館の観光をした。到着してから部員全員で町のマーケットに行き土産などの買い物をした。ここは観光者向けの店が立ち並び買い物がしやすかった。マーケットで一時間程度過ごしたのちに、旧フリーマントル刑務所に行きたい人と博物館に行きたい人に分かれ行動した。旧フリーマントル刑務所は、1850年代に流刑囚たちの労役で建てられ、1991年に重警備刑務所としての役目を終えるまで134年にわたり犯罪者などの収容・警備施設として使われました。フリーマントル刑務所は、州や国レベルはもちろん世界的にも貴重な文化遺産で、今では西オーストラリア州で最も人気の観光スポットのひとつとなっている。実際に刑務所の中を見学し、施設が使われていた当時の痕跡が鮮明に残っていた。このように大規模で見学できる刑務所は、多くはないと思う。博物館には、海の歴史が多数展示してあった。また、アボリジニが使っていた筏や海底から引き揚げられた財宝も展示してあった。その後、両グループともに港の近くのレストランなどで昼食をとり、バスで再び寮に帰った。この観光の間もUWAバレーチームの主将ジェームズが同行してくださった。

## 感想

フリーマントル観光で初めてパスを出る機会となった。個人的なことになるが、最初のマーケットでの買い物の中で立ち寄った店主のオーストラリア人のお年寄りの方と30分ほど話す機会があり、この機会で自分の英語力を改めて確認したのはもちろんであったのだが、パスの人々の温かさに触れた気がした。この経験でより一層オーストラリアが好きになった。また、旧刑務所では普段の生活では想像も経験もできない囚人の生活を知ることができ、とてもいい経験となった。この遠征の中のほかの行事と同様に、フリーマントル観光でも東京に居てはできない貴重な経験ができて、とても有意義なものであった。



## 11、野生動物公園訪問の報告

イ. 日時：2010年8月8日

ロ. 場所：Caversham Wildlife Park (パースから車でおよそ30分)

ハ、

### ①内容

カバシャム・ワイルドライフ・パークは、パース郊外に位置する、野生動物を間近で見られる動物園である。広大な敷地の中にカンガルー、コアラ、エミューなど日本ではあまり見られない動物を数多く飼育しており、一部動物とは実際に触れたり餌をあげたりすることができる。檻に閉じ込められたりしている動物はほとんどおらず、のびのびと過ごしている所を見学することができた。

今回の滞在では3時間30分ほど滞在し、うち約1時間30分はパークスタッフが引率してパーク全体を見学し、その後約30分のFarm Show (羊の毛刈り、牧羊犬の働きなどを実演するショー)、1時間は4班に分かれての自由行動、という行程であった。

### ②感想

日本でめったに見られない動物を見学でき、カンガルーやコアラ、ウォンバット等には実際に撫でたり餌をあげたりすることができた。オーストラリアならではの事が出来、とても記憶に残るイベントとなった。今回の滞在時間で、ちょうどショー等も含めて全体を見て回れるぐらいの時間だった。ただそれで飽きると言うことはなく、機会があればもう一度訪れて見たいと思った。

最初のパーク内ツアーにおいて、スタッフが英語で説明するところをそのまま理解するのは難しく、基本的に英語の分かる部員で通訳しながら巡った。それでも、時折スタッフに説明をもう一度確認したり、また質問したりする部員もおり、この4日間の遠征で部員全体に、英語を理解しようとする意欲が増したと感じた。ただ、説明の中には動物に触れる際の注意点など、聞き流したり誤解したりするといけな説明もあったため、やはり一人は英語に長けた部員が必要であるとも感じた。

今回はUWAの学生は予定が入り、私たちと一緒に回れた方々はあまりいなかった。可愛い動物達は格好の話題となるため、もしUWAの学生と一緒に回ればきっとコミ



コミュニケーションを積極的にとる機会となったと思う。今回は、日本人同士で班を作って自由行動を取ったが、相手校の学生と一橋の学生との混合の班にすることもできる。工夫次第で、次回はより海外遠征の当初の趣旨に即した、有意義なものにできるだろう。

全体として、カバシャム・ワイルドライフ・パークでの滞在はとても楽しく、かつ有意義なものであったと考える。次に海外遠征を行う機会があれば、やはり相手校の学生と出かける機会は何かしら設け、交流して共に思い出を作る場とすることで、海外遠征の意義を達することができるのではないかと考える。



## 12、現地でお世話になった方々

・UWA バレー部主将：James Taylor 様

現地での案内からサポートまでほとんど全てを担っていただきました。

・三井物産パース支店 高師様・Amanda Murphy 様

UWA との連絡を取ってアレンジを下され、また三井物産パース支店にて歓迎レセプションを開いて下さいました。

・INPEX 井上様・有森様・前田様

三井物産パース支店でのレセプション、UWA との試合後の夕食会、UWA でのレセプションにてサポートをして下さいました。

・三菱商事パース支店 山中様

西豪州政府関係者のレクチャーをアレンジして下さいました。それから、三井物産パース支店でのレセプションに参加していただきました。

・西豪州総領事館 佐藤様

西豪州総領事館に訪問させていただき、西オーストラリアと日本の関係についてのお話をして下さいました。また、三井物産パース支店でのレセプションに参加していただきました。

・UWA Alan Robson 副総長

我々の遠征を歓迎して受け入れてくださり、8/5に表敬訪問を受け入れて下さいました。

## Ⅱ、今後の展望

### 良かった点

- ・総領事館を訪問することができたり、西豪州の政治・経済に関するレクチャーを受けることができ、現地で知識を得ることができた。
- ・レセプションにおいて一人ひとりが英語で自己紹介をする機会がくれた。
- ・UWA の受け入れ態勢が良かったこともあり、計画が多すぎず少なすぎず、様々な体験を無理のない日程で実行することができた。
- ・4年生のみだが、UWA の副学長に挨拶し、お話を聞き、少しでもコミュニケーションをとる機会が用意されていた。
- ・バレー部 OB、また如水会関係者のご協力によって、オーストラリアにいらっしゃる社会人の方とお話しする機会がえられた。
- ・UWA のバレーボール部と力が拮抗しており、僅差の試合をすることができてバレーボールの実力を上げる良い機会になった。
- ・UWA のバレー部主将が献身的に案内をしてくれて、スムーズに日程をこなせた。また多くの時間を共に過ごしたために、徐々にコミュニケーションも増えていった。

### 改善点

- ・現地での案内役が主に UWA のバレー部主将 1 人であり、他の学生とコミュニケーションをとる機会が少なかったのが残念であった。
- ・準備期間がもっとたくさん取れば、英語による学術的なディベートなども出来たかもしれない。
- ・航空券の手配や向こうとの連絡など、現役の中で海外遠征担当のみに負担を押し付けるのではなく、もっと役割を分担・または協力していくべきであった。
- ・団体での航空券を手配するのが、早めに日程を確定できると安く手に入る可能性がある。様々なルートを調べるのが良い。

### Ⅲ、参加者感想文

社会学部四年 主将 河崎 健一

この度、如水会の運動部国際交流助成を受けてオーストラリアの UWA に行って交流することが出来ました。まず何より、支援して下さったバレー部 OB の方々、如水会の関係者の方々、同行して下さった OB の古野間様、石川先生、また現地で支援体制を作ってく下さった三井物産や INPEX、三菱商事の関係者の方々、また我々を歓迎して下さった UWA の関係者の方々など、支援して下さった全ての方々に本当に感謝したいと思います。また、今回の海外遠征の担当として、向こうとの英語でのやりとりや、OB との調整、航空券の手配など、大変な仕事を一手に引き受けてくれたマネージャーの植田さんにも感謝します。

今回の海外遠征を通して、自分の英語力のなさを改めて痛感したり、オーストラリアは日本に比べて物価が高い（おおよそ日本の 1.5 倍から 2 倍くらいの感覚）ということや、オーストラリアの人々はおおらかで寛容な人が多いということなどを、実際に自分の感覚で知ることが出来、とても良い経験となりましたが、自分が現地で学んだのと同じくらい勉強になったと感じたのが、出発する前の準備です。

今回バレー部としてはじめて海外遠征を行うため、航空券の手配から遠征の日程まで全て自分たちで決めなくてはなりませんでした。もちろんその過程では OB さんのご協力や助言などもありましたが、例えば航空券一つ手配するにしても、どうやって航空券を入手すれば安くて条件が良いかということや OB さんや知り合いを通じて調べたり、また計画を一つ立てるためにも如水会のオーストラリアの支部の方々にお願いをして調整をするなど、様々な人の協力の上で成立して行くので、改めて人脈の大切さを実感しました。

今回このような経験をさせていただいたので、今後部員一同に出来ることは、バレー部の活動を通して感謝の気持ちを示すことや、部員一人ひとりがこうした経験を通して成長することだと考えています。実際、マネージャーも含めて部員全員で今回の遠征を行い、英語を勉強しようという意欲は皆高まっていますし、また部としてのまとまりも強くなっていると感じています。こうした伝統を今後継続していけるようにして、新入部員も増やし、バレー部の雰囲気さがさらに良くなっていくような、良い循環を作っていくよう今後とも部員一同で努力していきたいと思っています。

私は海外遠征という貴重な経験を通し、自分のパーソナリティーの再構築をすることができた。これはバレーボールプレーヤーとして、さらに一個人としての両方の意義をもつ再構築であったといえる。

まず私はバレーボールプレーヤーとしての在り方に対しての意識が変化した。私はこれまで10年間バレーボールを競技し続けてきた。その10年間の中で私は自分のチームがどのように勝利をつかむか、どのような特徴があるのか、ということを中心に考えてきた。だから一橋大学のバレーボール部に入部してからも、一橋大学が他の大学に対してどのような特徴があるのか、ということが頭にあった。しかしUWAと試合をして、私がこれまで知恵を絞って考えていたことがすごく範囲の小さなことなのだ、と認識させられた。UWAとの試合を通して、彼らは日本のバレーボールチームが大切にするような連携や細かいプレーの質について全く気に留めず、逆にただ楽しくやろう、ミスなぞ恐れるな、というような雰囲気がある印象を受けたからだ。私はそれを見て自分がこれまで考えてきたことは、日本人としての枠の中のことだったのだ、と衝撃を受けた。自分が「日本の」バレーボールチームでプレーしているということについて全く気付いていなかったのである。私はこれまでバレーボールを通していろいろなことを学んできたつもりであったが、UWAとの試合により実は日本という枠にとらわれていたということをしつかり認識することができた。

次に私の一個人としての意識の再構築についてである。私は将来海外で働きたいと思ってきた。しかしこれはすごくぼんやりとした夢であり、実際に自分のキャリアにどのように海外を組み込むのか、の想像が全くできていなかった。しかし今回の海外遠征により、たくさんのアイデアが現実視できるようになった。まず私は自分の英語力が足りないことはわかっていたが、実際に海外で試してみると、話す能力はある程度あることに気付くことができた。逆に大丈夫だと感じていた聞く能力があまりにも乏しい、ということもわかった。このように実際に自分が海外に出ていくためにどの能力が必要か、しつかり認識することができた。またパースで働いておられる日本人の方のお話をお聞きした時にも、実際に海外で働くことがどのようなものか現実的に教えていただき、イメージをしつかりと持つことができるようになった。

以上のように私は海外遠征を通して、自分がこれまで持っていた価値観がいかに小さく、ぼんやりとしていたかに気付かされた。そしてそれを解消するための広い視野が必要なこと、さらにそれを得るためにどのようなことをすればよいのかということが認識できた。このような貴重な経験をさせてくださった方全員に感謝の意を述べたい。



今回の海外遠征でオーストラリアに行くまで、私は海外渡航経験が一度も無かったため、出入国時に空港で行われる検査の手順のような小さなことから、今後の私の人生に影響を与えるような大きなことまで、数え切れないほどの経験をすることができた。その中でとりわけ大きかったのは、自分の英語力の無さを肌で感じることもできたことである。私は国際的に通用するビジネスマンになるために一橋大学商学部に入學したにもかかわらず、その決意を常に心の中に留めながら大学生活を送っているとは言えなかった。日々の勉強や部活、アルバイトに追われるばかりで、自分の将来を考えたときに必要になるはずの語学学習を疎かにしていたのである。実際にホスト校である UWA のバレー部員と交流をする際に、自分の伝えたいことは何とか拙い文章で表現できるものの、相手の言うことが聞き取れないために会話が成立しないという場面が数多くみられた。今回の海外遠征を通して自分が実際にどの程度英語が使えるのかが分かったし、帰国してからの英語学習の強い動機づけにもなった。これからは TOEIC や TOEFL、英検などの試験に積極的にチャレンジしたり、大学の講義で英語学習をさらに進めたりできれば良いと思う。

次に印象に残った経験は、国民性は国によって異なるということである。これは海外渡航経験者からよく耳にしていたのだが、聞くのと実際に見るのとでは大違いだったのである。しばしばオーストラリア人はおおらかでゆっくりした国民性をもつとされるが、道で人とぶつかりそうになったら謝ったり、スーパーでお客が店員ともことから友達であるかのように会話したり、日本の都心部では特にあまり見られないような温かい光景が実際に見られた。また、フリーマントルという港町の外貨両替所では鍵を持った店員が大遅刻をし、特に急ぐわけでもなく 1 時間半後に営業が開始されたのには驚いた。将来海外で働くことになった際、国民性というものを理解していなければ、いくら英語が聞いて話せたとしても円滑なコミュニケーションをとることは難しいと、この遠征を通して知ることができた。

この遠征を通して部員一人ひとり得たものはそれぞれだと思うが、部員たちは皆何か今後の人生にプラスの働きをするものを得て帰国したことに間違いはなく、その意味でこの遠征は成功であったと思う。しかし、如水会や OB 会の方々の厚いご支援があってこそこの成功であり、現役部員だけでは成し得なかったプロジェクトであったと思う。バレー部の活動をサポートしてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに、日々練習に精進していきたいと思う。

今回の海外遠征を通じて、私が心に残っていることは、自分の常識とは異なることを体験できたということです。

私は大学生生活も3年目に入り、当初は新鮮だった一人暮らしや多くの人々との新たな出会いなども少なくなり、パターン化された単調な日々が続いていました。そのような中で、はじめて海外を経験し、まず感じたことは、単調な生活の中で凝り固まっている価値観や常識というものが、いかに狭い範囲でしか通用せず、ある種の障害になっていたかということです。

例えば、西オーストラリア大学のバレーボールのプレイスタイルや練習の雰囲気は、日本で見て、経験してきたものとは大きく異なりました。特にサーブの打ち方やボールの感覚などは、自分の中にある「バレーボールってこういうモノだろう」という常識とは大きくかけ離れていました。また、交流試合でもなかなかそのような違いに慣れることが出来ず、プレーの面でかなりやりづらさを感じる事となりました。

この経験から、今の私は、自分の常識とは異なったものを前にした際の対応力が低いのだなと感じました。これは、パターン化された日常の中では、求められない力であり、それ故に、今まで自身では、なかなか感じる事の出来なかった部分です。しかし、今後の人生において、自分の常識と異なるものに出会うことは幾多もあるだろうし、またそういう人生にしていきたいと考えています。だからこそ、まず自分の常識は、常識ではないと痛感したこと、さらにそのような状況で、どのような対応を自分は出来るのかを考えるきっかけになったことは、この海外遠征における最も大きな収穫でした。

また言語に関しても、日本で、当たり前のように日本語を話すという経験しかなかった自分にとっては、外国語が飛び交う世界は、不慣れなものであり、異質なものでした。けれども、世界から見れば、日本語のほうが異質であるだろうし、ここでも自分の世界が閉じられたものだと痛感しました。

大学に入り、「自分の常識を疑え」や「自分達の価値観を絶対視するな」などの言葉は何度も授業などで聞いてきましたが、いまいち私にとっては、理解しがたかったです。しかし、この海外遠征でこれらの言葉が、経験を伴ったがゆえに、少し理解できたように感じます。

残り半分を切った大学生生活を過ごす上で、今回の海外遠征は大変刺激的でしたし、就職など大学後の自分を考える上でも有意義なものとなりました。このような経験を積む機会を下さった如水会、OB会をはじめとする多くの人々に改めて御礼申し上げます。

今回の海外遠征は、私にとって初めての海外であり、出発前は一体日本語が通じないというのはどういう事なのか、と非常に不安でした。

その不安は最初の入国審査の際にあっさりと現実となりました。現地の方々へのお土産の和菓子を持って入国したのですが、それがどうも引かかったようで「コレは一体何が入っているんだ」と聞かれました。中身は煎餅だったのですが、日本語なら簡単に説明できそうなものをボキャブラリーが不足して言いたいことを英語でどう説明すればいいのかということが全く分からなくて「これは日本のお菓子だ」「これは贈り物だ」としか言えず、中身を確認するために包装を破られそうになったところを植田さんに助けてもらうという顛末で、自分の力では何もできませんでした。

その後は一人で行動することもあまりなかった上に、自分から発信していくというよりはお互いに簡単な質問で会話することが多かったのであまり不自由を感じることなく過ごしていたのですが、最後にもうひとつ大きな場面がありました。

遠征で現地のクラブチームと試合をしたのですが、その練習中に相手のスパイクが激突して私は左手の小指を脱臼してしまいました。脱臼をした、ということは言葉で説明せずとも指を見せれば簡単に分かってもらえるので大丈夫だったのですが、病院に行くことになったときに自分自身では怪我をした経緯や症状をうまく説明することができないということで、医師や看護師の方とのやりとりも全くできず、ただオドオドすることしか出来ませんでした。診察を受ける前の手続きから、診察・治療の全ての場面において、植田さんに通訳をしてもらってなんとか言えるという状況でした。途中でレントゲンで骨の状態を見るとなったときに一人になったのですが、その時のレントゲン技師の方の説明を聞き取るのがとにかく大変でした。レントゲンを撮り終わった後「戻っていいよ」と言われたのですが、それ以外の部分は全然聞き取れず一体どこに戻ればいいのか、そもそも帰ってしまっているのかという部分がわからずに自分についてきてくださった現地のケンさんや植田さんに確認してもらおうということになり迷惑をかけてしまったという思いがとても歯がゆく感じました。

今回の遠征で一番感じたことはとにかく自分の英語力がまったく海外では通用しないということです。自分の言いたいことを発信することができない上に相手の発信してきた内容を理解することもできないという状況で、特に空港や病院などで、相手がこちらに合わせてくれる状況ではないときにはとても苦勞しました。またこれから海外に行く機会がまだまだあると思います。その時に今回のような思いをしないようにいままでより英語能力の向上に努めていきたいと思っています。

今回のオーストラリア遠征は私にとって初めての海外経験で、言葉、気候、街並みといった様々な日本とオーストラリアの違いに刺激を受けた4日間だった。なかでも言葉の違いは大きかった。

私たちは日本のなかではわりあい英語ができるとされているけれども、それは読み書きといった受験英語の中の話で、実際に使える英語力は身につけていないのだということが身に染みて分かった。

とにかく聞き取れない。話そうと思っても言葉が出てこない。オーストラリアにいる間は常に普段とは違うアタマを使っている感じで、緊張で毎日疲れていたのをよく覚えている。

けれども、それと同時にコミュニケーションは伝えよう、理解しようという努力、姿勢が大事なのだとも感じた。無理せず簡単な英語で、身振り手振りを交えながら話すことで、たどたどしかったけれども現地の人とコミュニケーションをとることができた。また、向こうもゆっくり、簡単な英語で私たちに話しかけてくれた。その心遣いがとても嬉しかった。

UWAの学生と話した内容で最も印象に残っているのは、「君は日本についてどう思う？僕はもっとこうするべきだと思う」というやりとりだ。オーストラリアの学生が日本の将来について日本の学生よりも真剣に考えていることを知って、恥ずかしく感じるとともに、私たちが日本のことはもちろん、世界にもっと目を向けていかなければならないのだと思った。

また、オーストラリアでは普段意識しなかった日本と西オーストラリアの結びつきも感じることができた。恥ずかしながら、私は日本が西オーストラリア州の主要な輸出相手国であることを、現地で政府関係者の方のプレゼンテーションを聞くまで知らなかったし、街を歩いていると **Sushi** , **Teriyaki** といった日本語が真っ先に目に飛び込んできて、驚いた。

今回の海外遠征ではバレーボールというスポーツをきっかけにUWAの学生、さらには西オーストラリアで活躍する政府関係者の方々、企業の方々から様々なことを学ばせていただいた。すべての出来事が刺激的であり、これをきっかけに自分の視野を少し広げることができたように思う。いまや、あらゆるものがグローバルレベルで動いており、これから社会に出ていく私たちには、日本という狭い単位でものを考えるのではなく、もっと広い世界に目を向けていくことが必要だ。このことに気づけたことが、今回の遠征で最も大きな収穫であると思う。

私たちの海外遠征実現を支えてくれたすべての方々に心から感謝の意を表したい。

私にとってこのたびのオーストラリア遠征は非常に有意義なものとなりました。大学の試験期間直後に出国するという強硬日程に加え、異国の地に降り立つという不安もあり、出国前はこのオーストラリア遠征が大きなプレッシャーとなつてのしかかっていたのは否めない事実です。しかし、今こうして遠征について思いをめぐらすと、そうした出発前の緊張やプレッシャーは全くの杞憂であつたと思えるほどの充実した経験、忘れられない思い出を得ることができました。私にとってプラスになった点、特に印象に残っている点をここでは3点紹介します。まず、1つ目は日本という国、日本の企業の位置づけを他国の目から客観的に見つめることができた点。2つ目は英語というコミュニケーションツールをより使いこなしたいというインセンティブが生まれた点。3つ目は、バレーボールという競技の素晴らしさを再確認できた点です。

1つ目に関して、日本国総領事館訪問や西豪州政府関係者の方によるプレゼンテーションを通じて日本とオーストラリアの貿易、経済関係における深い繋がりを知ることができました。しかし日豪間の深い関係がある中でも、中国、インドといったアジアの国々の台頭によって、オーストラリアの貿易相手国として日本は中国に抜かれ、その地位を落としつつあるという事実には危機感を覚えました。

2つ目に関して、この遠征を通じて現地の方、UWAの方と食事をし、会話をすることが多くありました。現地の方々が私が伝えたいことをなんとか理解しようと努力してくださっていたこともあり、とりあえずの意思疎通ができたことに喜びを感じたと同時に、私の英語力、特にリスニング、スピーキング力の無さに愕然としました。本格的にTOEICの試験勉強に打ち込むようになったのは、この遠征を通じて外国の方ともっと円滑なコミュニケーションをとりたいという欲求が生まれたことによる点が非常に大きいです。

3つ目に関して、外国の方とバレーボールの試合をするということは当然今回が初めての経験でした。バレーボールを通じて異なるバックグラウンドを持つ人達と勝負し、心を通わせることができ、スポーツの素晴らしさを再確認することができました。また、たった一度だけですがUWAバレー部の190cm超の長身から放たれるスパイクをブロックすることができたことが、自分のなかで自信となっています。

この他にもここでは、書き表せないほどの良い経験をすることができました。そして一橋バレーボール部24名全員で遠征にいき、皆で行動をともにし、結束を深められた点がなによりも意義があつたと感じています。それも、如水会、古野間さんをはじめとする一橋バレー部OBの方々、部長の石川教授、多くの方々のご支援、ご協力があつたからこそです。このような機会を設けてくださり、本当に感謝しています。また是非、海外遠征をバレー部の伝統として今後とも継続していきたいと熱望しています。



今回、バレーボール部として初めて海外遠征に行かせていただいたということで、とても貴重な体験をすることができました。またこの経験は今後の部員自身、またバレーボール部にとっても非常に大きな行事だったと思います。

まず、海外へ進出した経験も多くない我々が、言葉や文化の違う海外の人々とコミュニケーションをとることの難しさを痛感しました。中学の一年からずっと勉強してきたにもかかわらず、英語を使ってまともに話すことができないことに、もどかしい気持ちになりました。ただ、その中でも多くの部員がわからないなりに積極的に相手に話しかけにいき、このような気持ちを感じることができたことは非常に良かったのではないかと思います。実際に海外に行き、話をしなければ強く実感できなかった自分の英語力の不足に気がつくことができただけでも、この遠征は今後の大学生活、社会人生活の大きなモチベーションになると思いました。

次に、チームとして今回の海外遠征を先駆けとして、二年や三年おきで継続していくことで、今回体験することができた貴重な経験を後輩へと受け継いでいきたいと考えております。やはり一度で終わるのではなく、反省を活かして二回、三回と続けていくことができれば、よりよいものを後輩に受け継いでいくことができますし、そうすることで今回の遠征もより意義のあるものだったと実感することができると思います。私自身はOB担当という役職をやらせていただくことによって、卒業生や如水会から様々な面で現役部員を支援して頂けているということ強く実感できましたし、そのような卒業生とのつながりを活かすことで、今後のさらなる海外遠征の実現に向けても貢献していきたいと思いました。

最後に、今回の遠征は卒業生の皆様、如水会、オーストラリア側の関係者の方々など様々な方のご協力があったおかげで実現ができたと思います。現役部員だけではすることができないこのような貴重な体験をさせて頂けたことを心から感謝しております。今後我々がさらにレベルアップし、勝利、そしてリーグ戦での昇格という形で皆様方に恩返ししていきますよう、今まで以上に真剣に練習に取り組んで参りたいと思います。誠にありがとうございました。

このたび、多くの方々の協力のおかげでオーストラリアへの遠征が実現でき、貴重な体験をすることができました。初めての海外であったこともあり、遠征の五日間はあっという間に過ぎてしまいましたが、この五日間で多くの刺激を受けました。様々なお話を聞いたことはその一つです。初日に訪問した在パース日本国総領事館では、西豪州と日本の友好関係についてのお話をいただき、物資の貿易だけでなく、交換留学などによる文化的交流も深いことを知りました。同日三井物産と INPEX の方によるプレゼンを聴きました。遅くとも3年後には就職を迎える僕たち大学生にとっては大変興味深いものでしたし、個人的には、海外で働くということに憧れを感じました。さらに、翌日には西豪州政府関係者の方から西豪州の政治・経済に関するお話を聴講しました。日本と西豪州の関係を知らないなかで、国際について関心が高まり、大学でも国際系の授業をとってみようと考えています。また、自分の英語力の乏しさを気づかされました。会話をしようとしても、単語をつなげ、身振り手振りで伝えることで精いっぱいでした。英語は受験勉強を通して勉強してきたつもりでしたが、実用的な部分であるリスニング、オーラルの力が足りないと感じました。これからは、実用的な英語を磨き、次の機会には会話を楽しめるようになれるといいなと思っています。UWA との試合では、豪快なバレーに圧倒されました。特に、背の高さを生かしたプレーは今まで経験したことがないので、勉強になりました。試合のとき、短時間で対策を練り、対応していくよい経験にもなったと思います。その他にも観光や UWA の方々によるレセプションなど楽しい行事もあり、充実した五日間になりました。個人的には、海外でバレーをして収穫できたことも多くありますが、国内の合宿ではできないようなことをたくさん経験できたことをとてもうれしく思います。そして、この海外遠征を実行に移すことができたのは OB の方々や如水会、その他多くの方の協力・支援あつてのことです。このような貴重な体験を経験させていただいたことを心から感謝しています。また、この遠征で学んだことを様々なことに生かし、意義のあるものにしていこうと思います。ひとつ後悔していることは、遠征の計画に主体的に参加できず、どこか先輩に頼ってしまっていたことです。遠征を終えてみると、自分たちで計画を練ることは遠征の重要な意義のひとつだと思いました。この次遠征をする機会があれば、主体的に計画に取り組んでいこうと思います。最後に、繰り返しになってしまいますが、海外遠征では本当に貴重な体験がたくさんできました。この海外遠征を意味のあるものにするため、また実り多い海外遠征を今後も続けていけるように、同時に一橋バレーボール部を様々なかたちで応援して下さっている方々に感謝の気持ちをしめす意味でも、今まで以上に部活動や勉学に励んでいきたいと思っています。

自分にとって、オーストラリア遠征は初体験なことがおおく、とてもかけがえのない経験となりました。まずはオーストラリアへ向かう飛行機の中でした。隣に座っていたのは外国人の方で、もちろん彼は英語で話していました。というより、案内から何まで、すべて英語。当たり前なことですが、いざ経験してみるとなるとかなり焦ってしまいました。そのなかでも、隣の方に話しかけられた時は、いままで英語は勉強してきたはずなのに、しかも、気を使ってくれたのかゆっくり話してくれているのに、何を言っているのか全く分からず、自分はいままで何をやってきたのだと思わざるを得ませんでした。でも、彼といろいろコミュニケーションをとったことで英語がペラペラに話せなくてもわかろうとすれば通じ合うのだと身をもって体感できました。だから、オーストラリアについてもなんとかやっていけるのではないかと自信が出てきました。遠征ではいろいろなところを見学に行ったり、貴重な体験をしましたが、一番自分にとってよかったのは2グループにわかれて行動した時です。自分は博物館のほうに行ったのですが、メンバーはUWAのキャプテンを含めて6人という少ない人数での行動だったので、必然的にコミュニケーションをとる機会が多く、遠征の中で、一番英語で話す時間が多かったです。最初は後ろにくっついていたという感じでしたのですが、それではなんだかもったいないと思って、勇気を出してUWAのキャプテンのジェームズに話しかけました。飛行機の中では聞かれたことにこたえてばかりだったので、自分からどんどん話しかけたのはその時が最初だったと思います。勿論、最初は上手く伝わらなかったと思います。でもせつかく2人で話せる機会を得たのだからと思って、英語の話せる先輩に助けを求めないで自分の力だけでジェームズと会話しました。正直に言って、ジェームズの言ったことはなかなか聞き取れなかったし、細かいところまで理解してなかったかもしれません。でも、おおまかの内容はわかったし、何しろ自分から話しかけられたという点だけでも遠征に行く前より成長できたのではないかと思います。今回のオーストラリア遠征で格段に英語ができるようになったわけではないですが、自分の英語はどんなレベルなのかわかり、自分の知っていた世界がどれだけ狭かったのか体感しただけでも、とても有意義であったといえます。この経験を生かしてこれからの目標に向かって頑張っていきたいと思います

はじめにオーストラリア遠征を行うにあたっての如水会、OB会の多大なるご協力に本当に感謝しています。

初日にはUWAを見学しましたがまず広大なキャンパスに驚きました。たしかにUWAには多様な学部・学科があるのですがそれにしても広く、広場の芝生や建物はとてもきれいでした。三井物産パース支店では国際企業についての説明を受け、海外で活躍する方々のお話を聞いてそれまであまり考えたことのなかった海外での勤務に対しても意識が高まりました。また、パース市内を見回り、商店の営業時間の短さに驚きながらも、街の景観がきれいだと思いました。

UWAのバレーボールチームとの練習試合では、まず試合前から相手チームとの体格の違いに驚きました。一橋の最高身長は185センチメートルですが相手チームは185センチメートル以上の選手ばかりで、最も背の高い選手は197センチメートルだと聞きました。序盤の試合では普段あまり味わうことのない強烈なブロック、スパイク、サーブに一橋は苦しめられましたが、フルセットの末なんとか勝利することができ、今後格上のチームと戦う上で良い経験になったと思います。

ワイルドライフパークではカンガルーに食べ物を与えたり、コアラを間近に見ることができてよかったです。また日本では見られない珍しい動物が印象的でした。

海外遠征全体を通じて、海外の人とコミュニケーションをとることはそれほど難解ではないということを感じる一方でまだまだ英語の力が不足していることを痛感しました。UWAの学生と話をした時はたいてい聞く一方だけで、自分からたくさん話をしたりすることはできなかったからです。大学入学以来英語をしっかりと勉強することはなかったのですが、この遠征をきっかけに英語の勉強を始めることを強く決意しました。

海外遠征で得たたくさんのお話を糧にこれからの学生生活に励んでいきたいと思います。

最後に、今回の海外遠征を支えて下さったすべての方々に感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。

オーストラリア遠征、それは4日という短い間ではあったが我々バレー部にとって大きな、日本においては決して得ることができないであろう経験を与えてくれたと思う。

遠征初日、飛行機から降りた私たちを待ち受けていたのは美しい自然や情緒あふれる建造物、そして日本ではめったに見かけることのできない大きき優しいオーストラリアの人のジェームズだった。彼の案内で対戦校のUWAを視察したが、その広大さや荘厳さは目を見張るものがあった。すぐそばには海かと思うほどおおきな川も流れておりこの美しさにひかれてUWAを訪れる人も少なくないであろうと思う。夜には日本領事館・INPEX・三井物産についてのレセプションを受け西オーストラリア州における日本の影響力の大きさに驚かされた。

二日目は午前中は西豪州政府の方に話を伺い、西豪州の豊富な資源による経済の上昇やそれに伴う問題を知り、午後からはついにUWAとの試合を行った。UWAの人々は体が大きく苦戦を強いられたが、5セットまで続く熱戦の結果、無事に勝利を収めることができ本当によかったと思う。その夜は、UWAのキャプテンであるジェームズやオーストラリアの人々とオーストラリア風バーベキューを楽しみその豪快さを味わった。

三日目はかつて残酷な拷問や死刑も行われていたというフリーマントル刑務所を訪れた。オーストラリアは昔イギリスの流刑地だったこともあり白くそそり立つ壁や今は無人となっている独房はかつての冷たさを感じさせるものだった。午後からは西オーストラリアの社会人チームと試合を行った。今回のチームも皆大きな体格をしており、UWAとの試合と同様苦戦を強いられ、5セットまで持ち込んだがあと一步のところまで敗れてしまい非常に残念であると同時に世界のバレーボールのレベルの高さを改めて感じさせられた一戦だった。その夜はまたオーストラリアの人々と食事をし、拙い英語でなんとか意思を伝えるという苦い思いをしたことを今でも覚えている。

最終日は朝から動物園に行き、カンガルーやコアラ・羊といったオーストラリアを代表する動物から、オーストラリアに生息する珍しい鳥やキツネなどのさまざまな動物たちとの出会いがあった。午後はキングスパークを訪れオーストラリアの広大な自然を肌で実感しこの身に刻みつけることができた。

このオーストラリア遠征を通じて最も私たちに必要なことは、コミュニケーション力だと思った。なぜならなにをするにしても意思疎通ができなければならないからであり、このことは日本においては決して実感できないことであると思う。この海外遠征で学んだことを今後、すなわち大学生活だけではなく社会にでてからも生かしていきたいと思う。

今回のオーストラリアへの海外遠征は、大学入学後まだ四か月の私にとっては思いもかけない幸運であり、バレーボールや英語学習、海外志向について強いインセンティブをもたらしてくれた。

8月4日：この日は主に移動日だったが、パース行の飛行機の中で思わぬ出会いがあった。英語堪能の某大学の学生と中国からの留学生である。たまたま隣り合わせになった彼女たちとの会話は何もかもが新鮮であった。流ちょうな英語で交わされる会話や海外視点からの鋭い志向、自国のみならず他国に関する深い教養など、同じ大学生とは思えなかった。また、飛行機の添乗員との会話さえ十分にこなせない自分の拙い英語力を恥らしくも思った。

8月5日：パースに到着し、まず自由行動として1年生全員で宿泊施設付近を散策した。その後、James の案内のもと西オーストラリア大学のキャンパス案内をしてもらい、日本の大学とのスケールの違いを思い知った。

日本領事館のレセプションでは西豪州政府と日本との緊密な経済関係について詳しく説明を受け、日本を海外の視点から見ることができるとも新鮮だった。次に三井物産パース支店へお邪魔させていただいた。INPEX の方もいらっしやっており、この2社からの説明を聞き、日本企業が実際に西オーストラリアにどのように進出しているか、また、どのような影響を具体的に及ぼしているか知ることができた。海外で活躍する社員の方々と直接お話しさせていただき、世界で活躍する仕事に対してとても刺激を受けた。

8月6日：午前には西豪州政府からレセプションを受け、午後からは UWA との練習試合。それからの夕食などと楽しいひと時を過ごした。

8月7日：午前にはフリーマントルへ行き市場でショッピングを楽しんだり、フリーマントル刑務所を見学し、西豪州の歴史に触れた。午後からは UWA との試合だった。この日は試合に出させてもらったが、日本人と体格もプレースタイルも全く違う人たちとの試合は戸惑いが多く世界の壁を感じさせられた。もっとうまくなりたかった。

8月8日：最終日の午前、動物園では、カンガルーに餌をやったり、コアラに触ったり、珍しい動物が見ることができたりするなど普段では経験できない動物との触れ合いができてとても有意義であった。こうして日本へ帰国した。

この遠征を振り返って、やはり星の数ほど出る言葉ではあるが本当に貴重な経験をする事ができたと思う。オーストラリアで過ごした期間はそのすべてが新鮮で刺激的で忘れられないものであった。日本から離れて母国を客観視してみること、日本語の全く通じない状況で四苦八苦すること、世界で活躍する大企業の方々と直接お話しすることなどはなかなかできる経験ではない。これからの4年間の大学生活や引いてはこれからの人生に影響をもたらすであろうし、実際に今そのインセンティブのもとに頑張りを始めたこともある。今回さまざまなご支援賜ったすべての方々に感謝します。

私は今回海外遠征に行って、たくさんの貴重な経験をすることができました。もちろん、試合によって UWA の方々と交流ができたこともとてもいい経験になったのですが思いましたが、それと同じくらいオーストラリア、それに日本という国について考えられたことも大きかったです。パースの日本総領事館や西豪州の政府関係者の方々にお話をうかがったことでオーストラリアと日本、また西豪州と日本が経済や文化など様々な分野においてどのような関係にあるのか知ることができ、これからどのような関わりかたをするのが望ましいのかといったことについて考えるきっかけにもなりました。

また大学案内やレセプションなど英語に触れる機会が多く自分の英語力、特に英語を聞く力と話す力も試されたように思います。実際にコミュニケーションをとろうとすると思ったことがうまく言い表せなかったり、相手の話している内容がききとれなかったり…と思っていた以上に英語でのやりとりは困難でした。いままで英語を勉強してきた中では英語を読む練習はそれなりにしてきたけれどそれではあまり通用しない、というのが正直なところで、もっと実践的な勉強をする必要性を感じました。周りの部員と話した中でも「もっと英語を勉強したい」という声も多く、海外という環境におかれたことで学習意欲も感化されたように思います。

私の場合海外に行くのは初めてではなかったものの、やはりオーストラリアという異文化の中で日本とのさまざまな違いによって受ける衝撃は大きく、新たな比較対象が生まれたことで日本という国での生活を改めて考えることもできました。また一年生というまだ大学生活にある意味余裕のある時期に海外に行けたことで、これから大学で学びたいことの視野も広がったように思います。この経験をこれからは存分に生かせるようにしたいと思います。

私は今回のオーストラリア遠征で普通の海外旅行などではすることのできない貴重な経験をさせていただきました。遠征1日目には領事館を訪問させていただき、日本と西オーストラリアの関係の重要性と日本が西オーストラリアで果たしている役割など、15分という短い時間ではありましたが、大変貴重なお話を聴くことができました。その後三井物産のパース支社の方々にも暖かく迎えていただきました。三井物産では日本の企業が西オーストラリアでどのような仕事をしているか、またその結果どのような利益が日本にもたらされているのかをスライドを使って丁寧に説明していただきました。またこの場では海外で働く社会人の方、国家公務員の方や現地の方と様々なお話をする機会を与えていただき、自分の無知さを改めて実感するとともに将来に役立つ生の知識を吸収することができました。私はこの一日で日本では普段あまりその重要性が伝えられることのない地域であっても、その地域との関係によって私たちの今の生活が成り立っており、あらゆる地域に目を向けていくことが大切であるということ強く認識させられました。

2日目と3日目には今回の遠征における最も大きな目的である、UWAとの練習試合を行いました。長距離移動による疲労や、ボールの違い、外国人選手とのプレーといった普段とは違う環境の中で、いかに自分たちのプレーを行うことができるのかを試される試合でした。プレーが乱れることも度々ありましたが、4年生を中心に粘り強いプレーをみせ、いい試合を行うことができました。このUWAとの試合で、異なる環境の中で状況を自分たちの流れにもってこるための精神力をプレーヤー一人一人が強くすることができたと思います。また今回の遠征にはレギュラーメンバーだけでなくチーム全員が参加したのですが、試合に出場していない選手が応援や声出しを行うことで、チームとしての一体感が生まれ、試合をいい流れに導くことができました。UWAとの試合ではチームとして戦うことの重要性を部員各々が改めて実感することができたと思います。

今回オーストラリアに遠征に行かせていただき遠征を通して現地の方などと交流することで、部員一同視野を広げることができたとともに、バレー部としても自分たちのプレーや練習を見つめなおすよい機会を得ることができました。またこの遠征を通してOBの方々や如水会にバレー部は支えていただいているのだということ改めて実感しました。本当にありがとうございました。この経験を生かして今後もバレー部として良い結果を残せるように練習に励んでいきます。



## IV、参考資料

### 1、一橋大学バレーボール部海外遠征費用概算

概要	内容	一人当たり (円)	計(円)	計 (AU\$)
航空券	チケット代・空港税・燃油サーチャージ・HIS 手数料・豪州入国許可証申請料	115,760	2,778,240	37,043
宿泊費	UWA 内の宿泊施設 4 泊分、朝食つき	16,500	396,000	5,280
現地費用	レセプション代、UWA 施設使用料、送迎バ ス、UWA マネジメントお礼など含めて \$ 1,045	3,266	78,375	1,045
食費	夕食3回(UWA との BBQ 費用含む)	5,400	129,600	1,728
海外旅行 保険	3120 円 × 24	3,120	74,880	998
動物公園 入園料	22ドル × 24	1,650	39,600	528
移動費・ 雑費	一人 \$ 20	1,500	36,000	480
手土産	UWA と三井物産豪州支店へ	625	15,000	200

総額	147,820	3,547,695	47,303
----	---------	-----------	--------

※1オーストラリアドル=75 円(7 月 17 日時点での為替レート)で計算しております。

#### 費用分担

について

如水会運動部国際交流助成金 : 1,000,000 円 <確定>

バレーボール部 OB 会ご支援 : 1,300,000 円

現役負担 : 1,300,000 円 (一人当たり 54,200 円)

最初の計画では、総費用を総額 300 万円に抑え、如水会・バレー部 OB 会・現役がそれぞれ3分の1の100万円ずつ出資する予定でした。

しかし航空券が予定より 500,000 万円超過したため、総額費用が 3,550,600 円となりました。

如水会からの助成金は 100 万円までと決定しているので、残りの 2,550,600 円を OB 会と現役で半分ずつ負担するという形を取りたいと思います。

ご支援のほど、どうか宜しくお願いいたします。

一橋大学バレーボール部豪州遠征收支決算

●全体での会計●

概要	収入(円)	支出(円)	残高(円)
如水会助成金	1,000,000		1,000,000
バレー部 OB 会支援金	1,300,000	0	2,300,000
現役負担事前徴収(42,000 円 × 24)	1,008,000	0	3,308,000
航空券 + VISA 申請料 + 代理店手数料		2,778,240	529,760
宿泊費(\$ 4,992) + 現地バス送迎料(\$ 1,045)		500,000	29,760
手土産代	11,550	0	41,310

●その他、部員が個々で負担した費用●

概要	金額(円)
海外旅行保険(3,120 円 × 24)	74,880
動物園入園料(\$ 15 × 24)	約 28,800
移動費(\$ 7.5 × 24)	約 14,400
食費(約 \$ 70 × 24)	約 134,400

総額 252,480(一人当たり 10,520)

2、如水会加入者一覧

学部・学年	氏名	加入	未加入
社会学部 4年	河崎 健一	○	
商学部 4年	宮城 雄飛	○	
商学部 4年	森竹 祥平		○
社会学部 4年	植田 久美子	○	
商学部 3年	佐藤 政樹	○	
社会学部 3年	工藤 浩史	○	
経済学部 3年	山下 毅	○	
社会学部 3年	橋詰 脩平		○
商学部 3年	奥田 賢太郎		○
社会学部 3年	青野 恵理子	○	
社会学部 3年	伊澤 智子	○	
商学部 2年	梅原 宏樹	○	
商学部 2年	後藤 俊一	○	
法学部 2年	渡辺 寛人	○	
社会学部 2年	佐野 宗孝	○	
商学部 1年	竹下 風太郎		○
法学部 1年	入口 祥大	○	
経済学部 1年	茶圓 明大		○
商学部 1年	尾崎 敦洋	○	
法学部 1年	和泉 信吾	○	
商学部 1年	稲本 亮太		○
社会学部 1年	笠松 茜	○	
社会学部 1年	金原 雅予		○
社会学部 1年	豊田 芙生子	○	

2010年5月5日

### 3、一橋大学体育会バレーボール部 オーストラリア遠征計画

一橋大学体育会バレーボール部  
及びバレーボール部 OB 会

現在、体育会バレーボール部及びバレーボール部 OB 会では、今年度より学生の国際交流活動支援策としてオーストラリア遠征を企画し、実施に向けて準備中でございます。今般、この活動に対する如水会からのご支援について検討していただくにあたり、現時点で計画している内容についてご報告させていただきます。この、我が部にとって新しい試みを実施するにあたり、如水会の運動部国際交流助成金制度の活用が不可欠と考えております。我々の遠征計画はまさに如水会の支援制度の主旨に合致したものであり、来年度の実施にあたっては制度を有効に活用したいと考えておりますので、その際は是非ご検討をお願いします。

#### 1. 遠征の目的

バレーボールという共通の競技に取り組む海外の学生と交流することで、スポーツによる交流にとどまらず、その国の文化や考え方等に接し、新しい発見や国際感覚を身につける機会を、本学学生に提供するもの。

#### 2. 訪問先大学

西オーストラリア大学(The University of Western Australia)

#### 3. 日程

2010年8月4日(水)～8月8日(日)

8月4日(水)

QF80便にて日本出国 <成田 20:40 → パース 06:05 (5日)>

8月5日(木) 午前:宿舎に移動、休憩 午後:UWA 視察、トレーナー講習

8月6日(金) UWA と合同練習

8月7日(土) 午前:観光(できれば現地学生を交えて、パース博物館などを訪れ、西オーストラリアの文化に触れる) 午後:UWA と交流戦 夜:懇親会

8月8日(日) 出発まで観光。 夜、QF79便にて帰国 <パース 22:55 → 成田 09:55 (9日)>

#### 4. 参加者

学生 25 名程度 (選手19名、マネージャー6人)  
石川城太経済学部教授(バレーボール部長)

#### 5. 予算

渡航費: 2,375,000 円 (一人当たり約 95,000 円)  
宿泊費: 375,000 円 (一人当たり約 15,000 円)  
雑費(空港税・懇親会費等): 250,000 円 (一人当たり約 10,000 円)

部員一人当たり 約 120,000 円

合計 約 3,000,000 円

(総費用のうち、約 1,000,000 円程度はバレーボール部 OB 会からの補助を充当、約 1,000,000 円程度は個人負担予定)

#### 6. 現在までの検討状況など

(1)2009 年 9 月

予てから OB 会の中で案のあがっていた海外遠征の行き先として、オーストラリアのパースが候補となり、パース在住の OB が西オーストラリア大学に連絡を取る。OB 一名が、西オーストラリア大学副学長と面談。訪問の受け入れの承諾を得る。

(2)10 月

秋季リーグ戦が終わり次第具体的な計画にうつる予定だったが、5部昇格をかけた入れ替え戦において惜敗し、OB 会において遠征支援への反対の声が高まる。計画は一時中断となる。

(3)2010年3月

一部 OB 会の間で、再び遠征実施へのはたらきかけが始まる。現役部員の代表を決め、計画をつくりはじめる。

(4)現在

季リーグ戦にて健闘しており、最終戦を数日後に控え、5部昇格がほぼ決定。5月20日に開かれる世代幹事会において海外遠征支援の正式な是非がOBの間で決定される予定。

7. 推進体制

(1) 全体指揮、OB 取りまとめ

勝田(OB)

(2) 詳細検討、対外連絡窓口、航空券手配等実務

植田(4年)、高師(三井物産パース支店長。OB 大井の引き継ぎとして現地でのサポートを引き受けて下さりました)

(3) オーストラリア側サポート

大井(元在パースOB。現在北京赴任中だが、引き続き現地でのサポートを指示して下さる予定)

(4) 学生代表

植田(4年)

(5) 学生代表補佐

工藤(3年)、佐野(2年)

(6) 対大学窓口

石川城太経済学部教授(バレーボール部OBで、現部長)

平成 4 年 12 月 16 日

平成 13 年 7 月 26 日 (一部改正)

平成 14 年 3 月 14 日 (一部改正)

如水会組織強化委員会

#### 4、母校運動部の国際交流に対する助成の取り扱い基準及び申請手続き

題記助成に関しては、従来「適用基準」が設定されていたが、今般これを包含する「取り扱い基準」及び「申請手続き」を定める。

##### 取り扱い基準 (案)

母校運動部が国外で行われる国際交流活動に参加する場合、これに助成することが出来るものとし、その取り扱い基準を次の通り定める。

##### 1. 適用基準

- (1) 対象となる運動部は、体育会に所属する運動部に限ること
- (2) 対象となる国際交流活動は、次の要件に合致するものであること
  - イ. 国際交流試合を行うかまたは交流する相手が明確であること
  - ロ. 試合だけでなく前後の国際交流活動の目的、内容が明確であること
  - ハ. レベルの高い交流相手のコーチングを受ける等当該部のレベルアップに役立つこと
  - ニ. 相手国における当該スポーツの普及活動に役立つこと(注)「イ」は必要条件であるが「ロ、ハ、ニ」は、いずれかひとつでも良い。
- (3) 一橋大学長から、計画概要、予算書をふした申請書が提出されていること
- (4) 国際交流実施後に速やかに決算書を含む報告書を提出することを約束していること
- (5) 如水会助成金の比率は、予算総額の 30%を超えないこと

##### 2. 承認手続き

一橋大学長からの申請書に基づき、組織強化委員会が審議し、理事会の承認を得て決定する。

##### 3. 報告

国際交流活動実施後、当該運動部に速やかに報告書(決算報告を含む)を提出させ、あわせて助成金の清算を行う。必要あるときは、理事会に報告書を提出する。

##### 4. PR

本件助成制度については、大学の所定掲示、如水会ホームページ等で母校運動部へのPRを行う。

##### 5. 助成の取り消し

実施された国際交流活動が計画の趣旨と著しく異なっていると判断された場合は、助成を取り消し、支払済みの助成金の返還を求めることがある。

##### 6. 申請手続き

申請手続きについては、別に定める。

## 申請手続き（案）

1. 国際交流活動に対する如水会の助成を希望する運動部は、「取り扱い基準」に定める条件を承諾のうえ、次の通りその年の6月から翌年5月までに実施する予定の国際交流活動の計画書を如水会に提出する。
  - (1) 提出書類：大学学長名の申請書、計画概要、概算予算書  
ただし、学長名の申請書は5月の組織強化委員会までに提出すれば可
  - (2) 提出先：如水会業務部
  - (3) 提出期限：2月10日  
ただし、平成14年度については、提出期限を6月10日とし、対象の活動期間は8月から翌年5月とする。
- (注) 相談窓口 如水会 高橋業務部長 Tel 3 2 6 2 - 0 1 4 7（直通）  
mail address : takahashi1973@mercury.ne.jp
2. 申請された内容は、組織強化委員会において審議し、優先順位を付して5月の理事会に付議して決定する。
3. 理事会で承認を受けた場合、当該運動部は活動実施の1ヶ月前までに確定した計画書（予算書を含む）を如水会に提出する。
4. 如水会は、提出された計画書により助成金額を仮決定し、助成金額を指定された金融機関の口座に振込みにて支払う。
5. 当該運動部は、活動実施後1ヶ月以内に活動報告及び決算書を提出しなければならない。



## 5、現地との連絡メール

### ①高師様

初めまして、一橋大学体育会バレーボール部4年生マネージャーの植田久美子と申します。このたび海外遠征の現役担当を務めさせていただくことになり、高師様に現地でのご協力を改めましてお願いするべく、直接連絡を差し上げた次第です。

この先現役代表としてぜひ高師様と連携をとらせていただきたいと思います。パース支店長としてお忙しいなか我々学生のお付き合いをしていただくことになり恐縮極まりないのですが、自分たちでできることは精一杯取り組んでいく所存でございますので、どうかご協力をお願いいたします。

我々は当初、パース及びシドニーの2都市を訪問し、オーストラリアに計1週間ほど滞在するという案を考えておりましたが、OBや現役同士で話し合った結果、行き先をパース1都市に絞り、滞在期間も正味4日間に短縮する方向に変更いたしました。また、日程に関しても変更がございまして、当初は8月15日出発を考えていたのですが、お盆休みの航空券高騰や我々のリーグ戦への準備の兼ね合いもあり、8月1週めの出発を希望することとなりました。具体的には、カンタス航空の成田-パース直行便が飛んでいる8月4日(水)を希望しています。

これらの変更も含めました遠征計画案(本学OB会の助成金制度申請の際に提出する書類です)を、このメールに添付させていただきましたので、どうかご一読ください。

当然のことながら、UWA側との都合を合わせた上でなければ最終的な日程を決定することも航空券の予約をすることもできないのですが、添付いたしました計画案に書かれている日程はあくまでも我々の希望なので、UWAバレーボールクラブの都合は全く反映されていません。

実は今はまだバレー部OB会の方からは遠征の正式な許可を得ていない状況でして、今月20日に行われます幹事会における審議が通ってやっと許可が出ます。その許可がおりるまでは先方と直接連絡を取るのには控えるよう指示されておりましたが、それではいざ実施するとなった時に遅すぎるので、20日の幹事会を待たずにUWAとの日程調整をある程度行いたいと考えております。

そこで、UWA側の都合の確認を高師様にお願いすることはできますでしょうか。

そうではなくて、当事者である我々現役が直接コンタクトを取るほうが望ましいようでしたら、そのようにおっしゃってください。その場合ですと、私が代表として先方に連絡をとります。

さらに、宿舎に関してですが、UWAの宿泊施設を利用することも可能だということ存じあげていますが、8月ですとオーストラリアの大学は授業期間中ですので、空室にも限りがあるのではない

かと勝手ながら想像しております。このたび新入部員も入って 25 人という大人数での訪問になりますので、もし UWA 側の宿泊施設の利用が難しいようでしたら他の宿泊手段を考えますので、その点のご確認もお願いできませんでしょうか。この件についても現役部員が確認をとったほうが良いようでしたら、私がやらせていただくので、その場合は UWA 側の連絡先を教えていただければ非常に助かります。

お忙しいなか、図々しくも一度に何点もお願いをしてしまい、大変恐縮に思っておりますが、どうかよろしくお願いいたします。

乱文にて失礼いたします。

植田久美子

一橋大学社会学部 4 年

体育会バレーボール部マネージャー

-----  
-----  
Dear Ueda-san,

My name is Amanda, and I am Executive Assistant to Mr Takashi.

Apologies for my late reply, but I am pleased to let you know that UWA can accept Hitotsubashi University's Volleyball team on the dates you proposed. UWA has arranged the following, so hopefully this is suitable for your team:  
twin share accommodation at the UWA dormitory, including breakfast, lunch and dinner, at a cost of \$82pp per night. Please note that because the flight arrival is quite early and usual check in is 3pm, UWA is proposing to charge for accommodation from 4th-8th August (4 nights) to secure these rooms  
for a total cost of \$3000 for the whole group, the following will be provided:

QUOTE

Staff Support A selected UWA Sports staff member will be dedicated to act as a direct liaison for the group during their entire stay in Perth. This person will attend all training sessions, tourist activities and functions with the group as well as greeting and farewelling the group at Perth airport.

Training Access to the UWA Recreation Centre for Volleyball training each day as

needed. Time to be confirmed and mutually agreed.

Games 2 practice games against UWA Volleyball teams

Farwell Function to be hosted by UWA Volleyball Club after the final match

Transfers Bus transfers from Perth Airport to accommodation both on arrival and departure, Bus transfer to Mitsui welcome function, bus transfer to Perth tourist activity

Each delegate of the group will also be supplied with a UWA polo shirt item

END QUOTE

I hope that these arrangements are okay for Hitotsubashi. Please let me know if you have any questions, or would like me to get some more information.

Kind regards,

---

Amanda Murphy

Amanda Murphy

Executive Assistant to General Manager

---

-----

Dear Ueda-san,

Further to the email that I sent you yesterday, please allow me to clarify a point which I incorrectly wrote yesterday:

Accommodation can also be based on single room for \$112pp per night (in addition to the information I provided about twin share yesterday). You are able to choose which will be more suitable for your team. Both rooms will still include breakfast, lunch and dinner

Please accept my apologies if there has been any confusion, however the information in this email is the most up-to-date.

Kind regards,

Amanda

---

-----

Dear Amanda-san,

Hello, I am Kumiko Ueda, a student staff member of the Hitotsubashi University Volleyball team and the leader of this overseas trip project.

First of all, I would like to express my sincere gratitude to you for helping us arrange this project with UWA. Without your help, our plan wouldn't have been able to take a concrete form. So once again, thank you very much for your kindness.

We are delighted to know that UWA has not only accepted our proposal but also made various arrangements for our visit.

At the moment, the number of our members visiting UWA is not fixed yet, as there are few members who may not make it for the trip. I will figure out the fixed number and inform you as soon as possible so that we can let UWA know how many rooms we would like to book.

As for the type of the room, twin share type sounds great for us.

However, I have a question about the meal plan that is included in the fee. I am wondering if they can exclude the meal plan and make the accommodation fee slightly cheaper, as there is going to be several opportunities for us to eat out, and it is not likely that we will have every meal at the dormitory. Would you be kind enough to ask UWA whether there is an accommodation plan without the meal service?

I am going to book the plane tickets soon so that we can assure you that we will definitely be in Perth on the date of plan. I will let you know the flight number as soon as the booking is completed.

I will e-mail you if we come up with further questions. (But we will do our best not to trouble you too much!)

If you have any request or question to our team, please let me know any time.

With best regards,

Kumiko Ueda

---

---

Dear Ueda-san,

Many thanks for your reply, and I am pleased to be helping you out with these arrangements.

As it happens, I will be visiting UWA tomorrow with Mr Konoma, so we will be able to discuss the possibility of excluding the meals from the accommodation fee. Once we know the outcome, I will let you know.

I am sure that we will have a lot more contact over the coming weeks, and please feel free to ask any questions that I might be able to assist you with.

Kind regards,  
Amanda Murphy

-----  
-----

Dear Ueda-san,

We had a very productive meeting with UWA last Friday, and I am pleased to let you know that the preparations are coming together nicely.

With regards to your question about the accommodation fee excluding meals, UWA said that it is possible to have this option. Basically, they can be quite flexible with the accommodation package, so for example, you can request which meals you would like to be included, based on your final schedule. UWA has requested that they have a couple of week's notice for which meals are required, so that they can adequately prepare for your stay. The cost of the accommodation per night will be adjusted according to how many meals are taken each day. If it is possible for you to draft a schedule of where the team plans to have meals on each day, then we can speak with UWA about the final cost. Also, for your reference, dining out in Perth is quite expensive compared to Japan, so you may like to take that in to consideration.

I will keep you informed of any other information that comes through from UWA.

Best regards,  
Amanda

-----  
-----

Dear Ueda-san,

UWA has checked with the accommodation provider at Trinity College, and passed the following information on to me:

Excluding lunch from the accommodation will reduce the cost by \$12 per person, per night

Excluding dinner from the accommodation will reduce the cost by \$15 per person, per night

Breakfast is a standard inclusion, so no price reduction is available

So, if you choose to take no dinner or lunch, the price will be \$55 per person, per night (twin share), or \$85 per person, per night (single room). Of course, you are able to choose which meals you would like to have at the college, although as mentioned, UWA will require at least 2 week's notice to make these arrangements. So, the earlier you can provide this information to UWA, the better.

Also, as UWA is proposing to have a social function between both volleyball clubs, to be held at Trinity College, dinner will be charged for that night.

UWA has also said that they request payment for accommodation and meals to be made prior to arrival, so this is another reason why it is necessary to inform them when you plan to have meals in the college.

We also requested that UWA provide accommodation for male and female participants on separate floors. They are able to do this, however please note that Australian colleges do not separate male and female accommodation, so even though your team will be on separate floors, they are not able to guarantee that there will not be male and female Australian students on those floors. I trust that you understand this situation.

Best regards,

Amanda

Amanda Murphy

Executive Assistant to General Manager

---

---

Dear Amanda-san,

Thank you very much for taking your time to visit UWA on May 28th. I deeply appreciated the detailed e-mail you have sent me last week.

With the information that you have given me, I talked with my team mates about the meal service. Having known the fact that eating out in Perth may cost more than it does in Tokyo, we agreed that breakfast is the only meal we would like to have at the dormitory.

So we decided that we would like to go for the plan that costs \$55 per person, per night (twin share room + breakfast included + no dinner or lunch).

As for the separation of male and female in the dormitory, I do not think we have much problem even if there is a mixture of both gender on the same floor, because I think our members are quite used to such situation. I highly appreciate your consideration.

I understood that the fee for accommodation and meals must be paid prior to our visit. I would appreciate if you would be kind enough to tell me the favorable deadline of the payment.

I would like to give you the final confirmation about the number of team members once we book the plane tickets.

To be honest, I have been struggling with the booking, as the fee ended up to be more expensive than I had estimated. But now I am finding a way out of this issue, and I hope I will be able to give you the information of the reservation soon.

Thank you so much for your kind cooperation.

With best regards,

Kumiko

---

---

Dear Ueda-san,

Thankyou for your confirmation regarding your team's choice for accommodation and meal options. I will inform UWA that you wish to have twin room with breakfast only, so that they can secure your rooms for safety sake – the number of rooms will be finally

confirmed once your final number of team members is decided. As per my previous email, may I just reconfirm that you are happy to be charged \$15 per person for the social dinner between Hitotsubashi and UWA volleyball teams? This will just be one night, so that the students can interact all together – if your team is agreeable to this event.

As for the prior payment, UWA has said that they will send an invoice to you for the accommodation/meal fees once all of these details have been confirmed (subject to your final numbers). Could you please let me know the appropriate details of who to send this invoice to? If the payment can be made approximately no later than 1 week before your arrival, that would be appreciated by UWA.

Best of luck with making your bookings, and I look forward to your confirmation of the number of people coming to Perth. In the meantime, I am happy to send you any specific Perth information that you may require, or assist with arranging things that may be difficult to do from Tokyo. Please do not hesitate to ask anything.

Best regards,  
Amanda

---

②一橋大学 バレーボール部 植田様

豪州遠征メンバーリストありがとうございます。

添付のとおり構成を変更しました。恐縮ですが空欄を埋めて頂き返送ください。

注) 1.石川教授のお名前空欄としておりますので埋めてください。

2.Captain、Manager 以外の方でチーム内役割がある方はご記入ください。

(適当に並べ替えましたが、貴部内で序列がある場合はそれに従い並べ替えてください。)

3. 古野間様が同道されると了解しておりますので末尾に顧問として追加させて頂きました。

(そのような予定がない場合は削除ください。)



お手数ですが宜しくお願いします。

高師

---

---

Dear Amanda-san,

Thank you very much for your e-mails which provided me with very helpful information.

As you have kindly suggested, I will contact Mr. Nathan Johnston in order to organize details of our visit. Thank you for introducing him to me.

I am pleased to know the additional 4 information you have given me. I will tell Prof. Ishikawa that UWA has not only welcomed him to enter the dormitory at 12 am, but also offered to accompany him there from the airport.

Also, I am happy to know that UWA volleyball team has proposed some exciting events for us. We would love to participate in those activities. I will contact Mr. Johnston about this topic.

As you have requested, I would like to give you the final list of all the 24 attendees for this visit.

The names are listed in alphabetic order.

青野恵里子 AONO ERIKO  
茶圓明大 CHAEN AKIHIRO  
後藤俊一 GOTO SHUNICHI  
橋詰脩平 HASHIZUME SHUHEI  
稲本亮太 INAMOTO RYOTA

入口祥大 IRIGUCHI YOSHITOMO  
伊澤智子 IZAWA TOMOKO  
和泉信吾 IZUMI SHINGO  
笠松茜 KASAMATSU AKANE  
河崎健一 KAWASAKI KENICHI

金原理予 KIMPARA MASAYO  
工藤浩史 KUDO HIROSHI  
宮城雄飛 MIYAGI YUHI  
森竹祥平 MORITAKE SHOHEI  
奥田賢太郎 OKUDA KENTARO  
尾崎敦洋 OZAKI ATSUHIRO  
佐野宗孝 SANO MUNETAKA  
佐藤将樹 SATO MASAKI  
竹下風太郎 TAKESHITA KAZETARO  
豊田芙生子 TOYOTA FUKIKO  
植田久美子 UEDA KUMIKO  
梅原宏樹 UMEHARA HIROKI  
渡辺寛人 WATANABE HIROTO  
山下毅 YAMASHITA TSUYOSHI

Please let me know if there is anything unclear about my explanation.

Thank you very much for taking your time to help us out.

Best regards,

Kumiko Ueda

---

---

Dear Kumiko-san,

This afternoon I have received some more information from UWA, so I would like to pass this on to you:

- Prof Ishikawa is welcome to enter the dormitory at 12am when he arrives. There will be someone from UWA to greet him at the airport and accompany him to the dormitory, then call someone to provide him access to the room (yesterday I mentioned that Nathan Johnston is your counterpart at UWA, and he will finalise these details directly with you)
- Also, a representative from UWA will greet your group at the International Airport when you arrive, and take you to your dormitory

- UWA is proposing to take your students on a tour of Perth city on Saturday 7th, and to visit the Caversham Wildlife Park  
[http://www.perth-info.jp/product\\_info.php?products\\_id=133](http://www.perth-info.jp/product_info.php?products_id=133) (where you can see koalas and kangaroos) on Sunday 8th
- UWA is also proposing to have an Australian BBQ with your students on Friday 6th after you finish having a practice match

Best regards,

Amanda

---

---

Dear Amanda-san,

Thank you for the e-mail you have sent me the other day.

We are very pleased to know that the time and date for our friendly match against UWA is arranged as we hoped, thanks to your tremendous help.

Also, thank you for booking a room for our coach, Prof. Ishikawa.

Since Prof. Ishikawa will fly in to Perth with a different airline from us, he arrives in Perth several hours prior to us, and wishes to check in to the dormitory around midnight on August 5th. Is it actually possible to do this? I am a little worried because dormitories tend to have curfews, and in that case, he needs to book a different accomodation.

I would also appreciate it if you could tell me the adress and contact number of our accomodation, so that Prof. Ishikawa would be able to find his way by a cab.

Many thanks.

Tokyo is right in the middle of the rainy season. I actually don't mind the rainy wheather, but the humidity is nothing I would enjoy.

I read in a guide book that there are quite a few rainy days in Perth around July and August, but we will be prepared, bringing our little folding umbrella with us!

Best regards,

Kumiko

---

---

Dear Amanda-san,

My apologies for my late reply.

As you have already understood, our flight is:

Arrive Perth: 5th August at 06:05(QF80)

Depart Perth: 8th August at 22:55(QF79)

There are 18 males and 6 females in our team. I have an additional request I would like to make. In addition to the 24 members of our team, our coach will come along with us to Perth. He is an alumnus of our team and a professor at Hitotsubashi's Faculty of Economics. If possible, he wishes to stay at the same accommodation as us. Would you be kind enough to ask UWA if there is a spare single-type room left during our 4 nights-stay (i.e. from the night of the 4th to 7th August)??

Thanks to your clear explanation, I fully understood that there is no change that it costs \$3000 for the 6 items you have listed, and that we are asked to pay \$1245 of it as Mitsui & Co Australia, UWA and INPEX have generously offered to back up us. I am more than grateful to your warm support and generosity.

I always tell my team mates how nice and cooperative you have been to us. Thank you so much, and we cannot wait to say thank you face to face when we visit you at your office.

Please tell me if there's anything I missed to check up with you at this point.

Best Regards,

Kumiko

---

---

Dear Ueda-san,

I am very pleased to hear that you have booked your tickets for 24 people. We look forward to welcoming you to Perth. May I understand that your flight details are as follows:

Arrive Perth: 5th August at 06:05 (QF80)

Depart Perth: 8th August at 22:55 (QF79)

My apologies for the confusion with the fee payment. Please allow me to explain more clearly. As I said in my email on 25 May, there is a total fee of \$3000 for all of the 6 items that I listed – there is no change to this, and no additional cost. Please see the table below, which outlines the cost for these 6 items – you will see that they have been consolidated, but please be assured that everything is covered. All 6 items will still be provided for a total fee of \$3000 as indicated below.

Training Access – item 1 & 3 \$200.00

Bus Hire – item 5 \$1,045.00

Ancillaries, UWA gift, Dinner Function – item 4 & 6 \$855.00

Management Fee – item 2 \$900.00

Total \$3,000.00

As a sign of cooperation and international friendship, we would like to ask Hitotsubashi to pay just \$1245.00 of this total fee (training facilities access and bus hire). The remaining \$1755.00 is being considered by UWA, Mitsui & Co Australia, and INPEX as a contribution towards your visit. I hope that this explanation is better for you.

I have informed UWA that you have made a firm booking for 24 people. Are you able to please let me know how many males, and how many females, so they can allocate the rooms?

Also, I am awaiting confirmation from UWA regarding the exact number of people from their volleyball team who will be participating in this visit. I will let you know as soon as

I find out from them.

I also understand that Yoshimoto-san will contact me regarding your daily schedule. UWA has also requested that I provide this to them as soon as it is available, so that they may make their final preparations for you.

Do you require any information about tourist activities or such things for Perth? I am happy to provide you with some recommended activities, or informational websites if you need me to.

Best regards,  
Amanda

---

---

Dear Amanda-san,

Thank you very much for your kind e-mail which provided me with lots of information.

I am sorry that I haven't contacted you for a while. I have finally booked the round-trip tickets to Perth the other day! Now I am able to confirm you that there will be 24 of us arriving in Perth on August 5th.

I have several questions about the pay service that UWA has offered us.

In the e-mail you sent me on 5/25, you gave me the following information:

for a total cost of \$3000 for the whole group, the following will be provided:

#### QUOTE

1. Staff Support A selected UWA Sports staff member will be dedicated to act as a direct liaison for the group during their entire stay in Perth. This person will attend all training sessions, tourist activities and functions with the group as well as greeting and farewelling the group at Perth airport.
2. Training Access to the UWA Recreation Centre for Volleyball training each day as needed. Time to be confirmed and mutually agreed.

3. Games 2 practice games against UWA Volleyball teams
4. Farwell Function to be hosted by UWA Volleyball Club after the final match
5. Transfers Bus transfers from Perth Airport to accommodation both on arrival and departure, Bus transfer to Mitsui welcome function, bus transfer to Perth tourist activity
6. Each delegate of the group will also be supplied with a UWA polo shirt item

#### END QUOTE

With the information above, I reckoned that we were offered those 6 types of services at a total cost of 3000 dollars as a team. I got a little confused with the e-mail you sent me 2 days ago, as you gave me a new information that the hire bus fee (1045 dollars) and the training facilities access(200 dollars) are to be paid separately. I am very sorry for my bad understanding, but I would be grateful if you could tell me whether the prior plan that costs 3000 dollars is now invalid and that we are offered those services at separate costs.

I am truly pleased to know that Mitsui Perth has kindly planned an Welcome Function for us. I am touched by your warm hospitality. We would definitely like to visit you.

We are now making plans of what to do during our stay. Please allow me to let you know that Yoshitomo, a member of our team, will soon send you an e-mail about the plans that we are making.

I understood that if we are to dine out as a whole group, there will be a need to make reservation in advance. I will make sure that we make good plans prior to our visit. Thank you for your advice.

I have another question that I would kindly ask you.

We are wondering how many players there are in the UWA volley ball team. Although I checked their official website, I couldn't figure out the number of players. If possible, would you be kind enough to ask UWA about the number of players?

I am sorry that I asked you several questions at once, but I would deeply appreciate it if you could help us out. Thank you very much, Amanda.

With best regards,

Kumiko

---

---

③Hello Nathan,

Thank you very much for arranging a venue for the lecture on the 6th of August. We deeply appreciate it.

I talked to the lecturers, and we decided that we would like to start the lecture at 10AM. The lecture is planned to last for about an hour, so we would like to book the venue from 10AM to 11AM on August 6th.

Could you please tell me the adress of the venue? Thank you.

As for the payment for the accommodation etc, would you like us to pay you in cash when we get there?

Best regards,  
Kumiko

---

---

Hi Kumiko

I can provide a venue for your lecture which is located on the river and a 10 minute walk from your accommodation. What time would you like to start the lecture?

I will send another email about the payment.

Regards,

Nathan

---

---

Hello Nathan,

Thank you for your reply.

Our team and our university is also very excited about this visit. My team mates are



longing to play volleyball with UWA.

It has been decided that the lecture by our alumnus will be held during the morning on 6th of August, which means we will be free all day on the 8th. We would love to go to the Wildlife Park with the UWA crew.

Now please allow me to ask you a favor.

Although the date and time for the lecture has been fixed, the lecturers(one Japanese and one Australian) are having trouble finding the venue, despite they tried to find a place at the government building and at several Japanese companies in Perth.

So we would like to ask you if there is a possibility for us to use a room, that has a seating capacity of about 30 people at UWA, for about 2 hours in the morning on the 6th of July. I feel sorry for taking your time, but I would appreciate it so much if you could check if this is possible.

I have one more question to ask.

Ms Murphy has previously told me that we should make the payment for the accommodation fee and other fees that includes the bus service etc, prior to our visit. If so, it would be great if you could tell me how we should do this.

Thank you very much.

Kind regards,

Kumiko

---

---

Hello Kumiko,

Thank you for the email.

UWA is looking forward to making sure you and your teams stay in Perth is an enjoyable experience. Our Volleyballers are excited to play a team from Japan. I have been to Japan and had a great time visiting my brother who lives in Tokyo.

Yes an Australian BBQ will be organized for Friday 6<sup>th</sup> of August after a Volleyball fixture that afternoon then on Sunday we do want to take the group to the Wildlife Park but can do that in the morning allowing your Alumnus to give you his Lecture in the afternoon.

Kind Regards,

Nathan Johnston

---

---

Dear Mr.Nathan Johnston,

Hello. My name is Kumiko Ueda and I am the team secretary of Hitotsubashi University Volleyball Team. Please feel free to simply call me Kumi or Kumiko.

First of all, I would like to express my sincere gratitude to you for helping us organise this project . Thank you very much for your support and kindness.

Visiting Perth and playing volleyball with UWA Volleyball Team is such a wonderful opportunity for us to get out of our comfort zone and widen our horizon toward the world.

You might be surprised to hear this, but a certain number of our team members have never traveled oversea, which means this trip to Perth will be the first place to visit outside of Japan for them.

We are excited and thrilled to visit UWA, and we cannot thank you enough for welcoming us.

So far, Ms Amanda Murphy has been helping me arrange the accommodation, itinerary, etc with you, but from now on, I would like to contact to you directly in order to coordinate the final details of our stay.

Ms Murphy has kindly informed me that UWA Volleyball Team has offered us to do an Australian BBQ after the match on August 6th, and also planned to visit the Wildlife Park on the 8th.

It is so kind of you to offer us such plans, and we would love to have BBQ with your

members.

As for the plan on the 8th, our alumnus who works for the Western Australian Government might give us a lecture on that day. We are now arranging the date and time for this lecture, so could you please give us time to finalize this plan? I will e-mail you as soon as we fix the schedule.

Thank you very much.

If you have any request or question to our team, please let me know any time. We are very much looking forward to meeting you in Perth.

With best regards,

Kumiko Ueda

---

---

④Dear Amanda,

Thank you for helping us out.

I received an e-mail from Nathan and figured out how to pay him.

I am also looking forward to seeing you soon!!

I'm leaving home in an hour to the air port!

Best Regards,

Kumiko

---

---

Dear Kumiko-san,

Thankyou for clarifying those points. I have passed this information on to UWA, and they will make the final arrangements.

I just spoke to Nathan a few minutes ago, and he is replying to your email. I apologise for the delay from UWA, but please do not be concerned about your trip. The payments will be able to be finalised when you are in Perth. Please do not worry! Fremantle is a great choice for sightseeing, and I am sure that you will have a good day there.

I'm really looking forward to meeting you, and having a drink together at Thursday's event at Mitsui :)

Best regards,

Amanda

---

---

Dear Amanda,

Thank you very much for your e-mail. Yes, we are very excited about visiting Perth!  
Here, I would like to reply to the questions you have kindly asked me.

- Dinner after the Reception at Mitsui: We have not booked a restaurant, as we have decided to get into several small groups instead of eating out as a big group of 24 people. We are thinking of walking to Hay street or Murray Street from Mitsui and then go into restaurants around that area. It would help us a lot if the bus could pick us up around 21:30 at Perth station. If the station is not a good place to be picked up, we can go back to the Exchange Plaza after dinner so that the bus can pick us up in front of the building.
- The sightseeing on Saturday: As much as we are interested in all 3 options, we have decided that we would like to go to Fremantle.
- The School Flag: Yes, we do have a university flag and we are going to bring it with us. Its size is not very big, but instead it is very old as the team has owned it for so many years.

I have one question to ask you. Is it Mr Nathan Johnston that you are in contact with right now?

I have been e-mailing him several times during the last 2 weeks to arrange things, including the money matter. I questioned him about how to make the payments etc, but somehow he has not replied to me yet. I guess that he is either very busy or on a vacation, but I am worried now.

I reckon that UWA previously asked us to make the payments prior to our visit, but now that we are leaving tomorrow, we might have to pay it in cash when we get there as they haven't given us the information about the payment system.

I have already sent Nathan an e-mail that include the content written above, but if you are in contact with him now, could you please ask him to reply to my e-mails?

Thank you very much for your tremendous help.

With best regards,

Kumiko

---

---

Dear Kumiko-san,

I'm sure that you are getting excited about coming to Perth this week! UWA has a few questions for you, so I would be grateful if you could please "reply to all" in this email.

- After the Welcome Reception at Mitsui, do you have any specific dinner plans? UWA needs to arrange the bus for you, so they need to know where you will be going in order to make these prior arrangements
- On Saturday, there will be some sightseeing in the morning. Do you have a preference for where you would like to go sightseeing? The options are Perth City, Cottesloe, or Fremantle. Please let UWA know which one you would like.
- Does Hitotsubashi have a university flag that you would like to display at the volleyball games? If so, please let UWA know, and bring this along with you.

Many thanks, and I hope you have a safe trip to Perth.

Amanda

---

---

⑤Hi Nathan,

Thanks for the information for tomorrow morning.

I will find James and Rick when we get to the airport.

It is so nice of them to come and pick us up at such an early time of the day.

Looking forward to see you!

Kumiko

---

---

Hi Kumiko,

Our Volleyball Club President James Taylor and Deputy Director of Sport Rick Wolters will see you at Perth Airport tomorrow morning.

Have a great Flight.

Nathan

---

---

Hi Nathan,

Thank you for your reply.

Yes, we will pay you in cash when we get to Perth.

We are leaving in an hour to the airport.

We are looking forward to seeing you soon!

Kumiko Ueda

---

---

Hi Kumiko

Sorry for the slow reply, as you mentioned in an email to Amanda I have been busy organizing courses for our students which start this week.

The Water Sports Complex is located on the corner of Mounts Bay Road and Hackett Drive, Crawley. Below is a link to a map of the campus. The Water Sports Complex is located at Reference Point O/P 7 on the map. It is located on the Swan River. The College that you will be staying at is located at Reference point D6.

[www.uwa.edu.au/campus\\_map](http://www.uwa.edu.au/campus_map)

Payment for the accommodation can be paid in cash when you get here.

I have also updated the schedule for the week to include a 9.30pm pick up on Thursday night and a visit to Fremantle Saturday morning.

See you soon,

Nathan

---

---

Hello Nathan,

I am sorry for sending you E-mails one after another. I was just wondering if you have read the following E-mail I sent you last week;

-----  
-----  
-----

Thank you very much for arranging a venue for the lecture on the 6th of August. We deeply appreciate it.

I talked to the lecturers, and we decided that we would like to start the lecture at 10AM. The lecture is planned to last for about an hour, so we would like to book the venue from 10AM to 11AM on August 6th.

Could you please tell me the adress of the venue? Thank you.

As for the payment for the accommodation etc, would you like us to pay you in cash when we get there?

-----  
-----  
-----

I would appreciate it if you could tell me how you would like us to make the payment, as we will fly to Perth very soon and we want to make sure how to deal with the money matter.

Best Regards,

Kumiko